

<b>開講科目名</b>	社会研究方法論		
<b>担当教員</b>	安岡 正晴	<b>開講区分</b>	<b>単位数</b>
		後期	2単位

### 授業のテーマと到達目標

興味あるテーマをただ何となく調べれば「研究」になるわけではありません。「研究」として認められるためには確立された手続きに基づいて調査し、その結果を発表する必要があります。この授業では社会科学における研究計画の立て方と研究実施方法、研究に求められる思考法、さらに調査倫理について、様々な先行研究を取り上げながら、具体的に指導します。

### 授業の概要と計画

#### 第1部 研究とは何か？

1. なぜ研究するのか？
2. 研究テーマをどう選ぶか？
3. 問いをどう立てるか？意義のある問いとは何か？
4. 実証するとはどういうことか？

#### a) 仮説の立て方

#### b) 説明モデルの構築：何で何を説明するか？

#### c) 因果関係の説明

#### d) 仮説の検証、どういう結果が出れば「証明」されたことになるのか？

#### 5. 分析レベルをどう設定するか？

#### a) マクロとミクロ

#### b) 比較分析

#### c) 時系列分析

#### d) 事例分析

#### 第2部 研究方法

#### 6. 研究方法をどう選ぶか？

#### 7. 様々な研究方法

#### a) 文献研究

#### b) 資料・史料解読

#### c) 計量・統計分析

#### d) 数理分析、ゲーム理論

#### e) 参与観察、フィールド調査

#### f) アンケート

#### g) インタビュー、オーラルヒストリー

#### h) 実験、シミュレーション

#### 8. 同じ対象を異なるアプローチで研究するとどうなるか？

#### 9. 調査対象、データの選び方と妥当性、調査倫理

#### 10. 調査結果の妥当範囲と限界をどう見極めるか？

#### 第3部 研究計画作成

#### 11. 研究計画の個人発表とピアレビュー

### 成績評価と基準

授業における参加・発言：研究計画書：クラスメートの研究計画書の評価書 = 30%:40%:30%の割合で総合して評価します。

### 履修上の注意（関連科目情報等を含む）

「統計・計量分析法」（後期木3、宇津木先生）もできる限り合わせて受講して下さい。

### オフィスアワー・連絡先

月・水・金の昼休み、他は要予約

yasuoka@kobe-u.ac.jp、研究室 E409

### 学生へのメッセージ

大学院に入学したものの、どうやって研究を進めたらよいかかわからず、立ち往生している学生が少なくありません。実施可能で評価される研究計画を身につけたい皆さんの受講をコースを問わず、歓迎します。

### 今年度の工夫

新設科目です。受講者に実際に研究計画書を作ってもらい、それに対する相互批評（ピアレビュー）を書いてもらいます。

## 教科書

『政策リサーチ入門 仮説検証による問題解決の技法』 / 伊藤修一郎 : 東京大学出版会 ,2011 ,ISBN:413032215X

## 参考書・参考資料等

## 授業における使用言語

日本語

## キーワード